

常設合同委員会第23回定例会議等の開催 結果概要

◇ 概要

「北海道とロシア連邦極東地域との経済協力に関する常設合同委員会」の第23回定例会議をウェブ会議の形式で開催した。会議では、近年の交流状況について相互報告したほか、コロナ禍における交流に関する意見交換や、露側の経済プロジェクトの紹介などがあった。

また、同日午後には、「ロシアとの業種別ウェブ会合」と称したビジネスマッチングを開催し、「観光」と「IT」の2業種をテーマに両地域の関係業者がプレゼン等を実施した。

◇ 日本側参加者

中野・北海道副知事 ほか 約95名

◇ ロシア側参加者

ザイツェフ・サハリン州副首相 ほか 約30名

◇ 日時

令和2年10月23日（金）9:00-17:00

1 「北海道とロシア連邦極東地域との経済協力に関する常設合同委員会」第23回定例会議

○日時：10月23日（金）9:00~12:30

○場所：TKP札幌ビジネスセンター赤れんが前

○内容：中野副知事、ザイツェフ・サハリン州副首相を筆頭に、双方から約95名が出席。今般の開催においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、人的往来ができないことを踏まえ、ウェブを活用して開催した。

また、既存の構成員（道及びサハリン州、沿海地方、ハバロフスク地方）のほか、サハ共和国、アムール州、青森県、秋田県、新潟県、鳥取県がオブザーバーとして会議に参加した。

会議では、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた今後の交流について意見交換を実施したほか、ロシア側から、各地域の経済プロジェクトなどの紹介があった。



2 「ロシアとの業種別ウェブ会合」

- 日時：10月23日（金）13:30～17:00
- 場所：TKP札幌ビジネスセンター赤れんが前
- 参加：日本側：32名
ロシア側：22名
- 内容：両地域の経済交流の促進を目的として、「観光」と「IT」の2業種をテーマにウェブ上でのビジネスマッチングを実施した。
「観光」のセッションでは日本側2社及びオブザーバーの新潟県、ロシア側10社、「IT」のセッションでは、日本側2社、ロシア側5社がそれぞれ自社のプレゼン発表を行った。
発表後には、質疑応答が行われ、商談の約束が交わされるなど、実際のビジネスにつながる契機とすることができた。

